

00 AALA ニュース：141号 内容紹介

日米韓首脳会談小特集 + 「ニジェール事態」を考える小特集となっています。

内容紹介

今号は2つの特集を組んでいます。

1. 日米韓首脳会談小特集

赤旗の主張、環球時報の評論、韓国のハンギョレ新聞の解説記事です。

反口の NATO 構想と平仄を合わせた、「対中軍事対決構想」という評価が共通しているようです。東アジアを非核・非戦・非同盟の地域にするという日本 AALA の主張が、ますます重要性を増しているようです。

2. ニジェール事態

ニジェールをふくむサヘル・ベルト地帯で不安定な状況が続いていますが、3つの評論を掲載して一般メディアとは別の視点を提起しています。それにしてもブルキナファソの「建国者」であり、非同盟運動の英雄であるトーマス・サンカラに今一度、思いを致すべきではないでしょうか。

3. D.マクレガーは退役大佐で、トランプ政権で国防長官顧問を務めた制服組の大物。まさに一喝です。ペンタゴンやラングレーの、勝てない戦争への「うんざりぶり」がしのばれます。

4. 8月は第二次大戦終結78年に当たります。現在もウクライナ戦争が第三次世界大戦の危険をはらみながら継続しています。旧ドイツ共産党の機関紙最終号を掲載し、ファシズム勢力と独占資本の結合が、民衆の最大の敵であることを確認したいと思います。